2019年　国際ジュニアチームカップ

期　　日：平成３１年1月１９～２１日
場　　所：ヒューストン（アメリカ）
選　　手：北園　丈琉（１文D）
末次耕太朗（１文D）
結　　果：団体総合　優勝
個人総合　優勝　北園　丈琉（１文D）
３位　末次耕太朗（１文D）
種 目 別　あん馬　　優勝　北園　丈琉（１文D）
３位　末次耕太朗（１文D）
吊り輪　　優勝　北園　丈琉（１文D）
平行棒　　優勝　北園　丈琉（１文D）
２位　末次耕太朗（１文D）

団体表彰式

２０１９年国際ジュニアチームカップがヒューストンで開催されました。この大会は、ジュニア期からチーム戦をたたかうことにより、日の丸をつけて戦う意識を高めるとともに、将来のオリンピック団体戦への経験をさせるべく、数年前より派遣が開始された大会である。今回は、国内合宿を経ての派遣でよりオリンピック等に近い形の経験を積ます大会となった。

ところが、団体メンバー４名による合宿の際に代表選手の１名がインフルエンザにかかり渡航できなくなるという大きなアクシデントでスタートした。チーム戦は、４名の演技でベスト３の得点で争う形式で行われるため、１名が欠如している日本は、一人でも失敗すればそれがすべてチームの得点に入るためスタートから大きなハンデキャップを背負い戦わなければならなかった。

そんな１種目１種目、大きなプレッシャーのかかる中、本校の北園、末次は、見事に６種目をやり切り日本を団体優勝に導く中心的役割を果たした。

また、個人総合でも北園が優勝、末次が３位と見事な結果を残し、種目別でも北園が３冠、末次も２種目でメダルと素晴らしい結果を残した。

今回が高校生となり始めての日本代表となった末次は大きなプレッシャーの中持てる力を十分に出しての大健闘であった。

２０１９年最初の大会でこの結果を残したことは、今年度末に行われる高校選抜大会、さらには、夏のインターハイ連覇に向けて大きな自信となることであろう。

今年もますます熱くなる本校体操部に応援よろしくお願いします。

個人総合表彰式

監督の梅本先生とスリーショット

2019年　個人総合W杯（ドイツ大会）

期　　日：平成３１年3月１６日

場　　所：ドイツ（シュツットガルト）

選　　手：三輪 哲平（３文D）

結　　果：個人総合７位

２０１９年３月にドイツ・シュツットガルトにて、男子体操の個人総合W杯が開催されました。

この大会は、個人６種目を演技してその総合得点で争われる個人総合のみの大会であり、昨年の世界選手権に出場した選手が各国より多数出場するハイレベルな大会でありました。これに出場できるのは日本を代表して１人のみでした。

その予選として、昨年１１月に男子体操の新設大会「個人総合スーパーファイナル」が行われ、三輪哲平選手はシニア大会初出場にもかかわらず堂々とした演技を行い、昨年度の世界選手権代表である、白井健三選手、萱和磨選手の間に割って入る２位という快挙を成し遂げ、見事日本代表の権利を勝ち取っていました。またこのW杯シリーズ（全4戦）で上位に入ると今年度の世界選手権代表に内定するというとても重要なものでした。

試合は全員で1種目ずつ回っていき、１人ずつ演技をするというとても緊張感のあるものでした。今年度の世界選手権、東京オリンピックを見据えて技を増やし演技の勝ち点を上げた通しを行っていました。しかし今大会は器具が全て外国製であり、そこの感覚を合わせる微調整に三輪選手は苦戦をしいられました。

結果としてあん馬・つり輪・平行棒でミスをしてしまい目標としていた優勝には届きませんでした。しかし、３種目失敗をしてむかえた最終種目の鉄棒、この種目は新しく技を入れてＤスコアをあげていましたが、しっかりと着地までまとめて６種目を締めくくりました。

失敗が出ても心折れることなく最終種目までやりきったことは今年の世界選手権、いよいよ来年に迫っている東京オリンピックにも繋がってくることでしょう。

平行棒演技前

種目移動中（写真左　監督 梅本英貴先生）

平成３０年度　体操競技全国選抜大会

期　　日：平成３１年３月２３～２４日

場　　所：山口県（山口県スポーツ文化センター　アリーナ）

選　　手：木下渚（２文Ｅ）　坂口慶祐（２文Ｅ）平田龍之介（２文Ｅ）

北園丈琉（１文Ｄ）末次耕太朗（１文Ｄ）

矢野雄大（１文Ｄ）田部壮一郎（１文Ｄ）

結　　果：北園　丈琉	**個人総合・平行棒**	**優勝**
	鞍馬・つり輪・鉄棒	**２位**
	床	**４位**
木下　渚	**個人総合**	**19位**
	鉄棒	**４位**
矢野　雄大	**個人総合**	**23位**
	鉄棒	**３位**
	跳馬	**４位**
末次耕太朗	**個人総合**	**21位**
平田龍之介	**個人総合**	**30位**
坂口　慶祐	**個人総合**	**33位**
田部壮一郎	**個人総合**	**39位**

平成３０年度としては最後の試合である、選抜大会が３月２４日に山口県にて行われました。昨年度最後とはいっても、３年生が抜けて旧１・２年生のみで挑むシーズン初めの試合です。

個人総合は北園選手が優勝をし、ユースオリンピックチャンピオンの意地を見せました。

しかし、そのほかの選手は種目別での入賞はあるものの、個人総合の順位としては全国のライバルたちに差をみせつけられ、夏のインターハイへ向けて課題の残る試合結果となりました。

第58回　ＮＨＫ杯（２０１９世界体操選手権代表決定競技会）

期　　日：令和元年５月１８日～１９日
場　　所：武蔵野の森総合スポーツプラザ
選　　手：北園丈琉（１文Ｄ）
結　　果：北園丈琉　個人総合21位

この大会は10月にドイツ・シュツットガルトで行われる世界選手権の出場枠がかかっています。4月に行われた全日本個人総合選手権での得点と今大会の得点を合計した上位3名が代表枠に内定するというものでありました。

日本国内最高峰の試合であり、出場すること自体が難しいこの代表選考会の舞台に、北園選手は高校2年生ではただ一人の出場となりました。

しかし、ケガの影響で満足に練習がつめていなかったこともあり、ミスを連発してしまい大きく順位を下げてしまいました。

結果目標としていた順位には届きませんでしたが、全日本選手権初出場ながらＮＨＫ杯の権利を勝ち取りこの舞台で演技をしたことは、来年の東京オリンピックに向けて良い経験となりました。

令和元年度　インターハイ・近畿予選会

期　　日：令和元年５月２６日
場　　所：丸善インテックアリーナ大阪
選　　手：木下渚（3文Ｄ）　坂口慶祐（3文Ｄ）　平田龍之介（3文Ｄ）近江　奎太（3文Ｄ）
末次耕太朗（2文C）　北山翼（2文C）　近藤郁登（2文C）
矢野雄大（2文C）　田部壮一郎（2文C）
板橋悠迅（１文C）　川上翔平（１文C）
結　　果：団体総合　優勝【木下渚・末次耕太朗・矢野雄大・川上翔平】
個人総合　優勝　末次耕太朗　ＩＨ団体
2位　矢野雄太　ＩＨ団体
3位　田部壮一郎　ＩＨ個人
4位　近江　奎太　ＩＨ個人
5位　木下渚　ＩＨ団体
7位　川上翔平　ＩＨ団体
8位　坂口慶祐　ＩＨ団体
9位　平田龍之介　近個人
10位　板橋悠迅　近個人
13位　近藤郁登　近個人
16位　北山翼　近個人

先日大阪の今年のインターハイ出場を争うインターハイ予選が行われ、上記の結果を収めることができました。これにより、団体・個人ともに本校の生徒が出場枠を独占し、インターハイ本番に向けてよいスタートとなりました。

近畿大会にしましては、出場した生徒全員が出場権を獲得することができました。

これから夏本番に向け、クラブ一丸となり頑張ります。

第１回世界ジュニア体操競技選手権大会

期　　日：平成３１年３月１６日令和元年６月２７～３０日
場　　所：ジュール（ハンガリー）
選　　手：北園　丈琉（２文Ｃ）
結　　果：団体総合優勝／個人総合３位（１国２名までが入賞のため表彰なし）／鞍馬・平行棒優勝

今年６月にハンガリー・ジュールにて世界ジュニア体操競技選手権大会が開催されました。この大会は、今年より新設された体操の世界大会であり本校の北園丈琉が日本代表として出場をしました。
体操王国として第１回大会のタイトルをなんとしても獲っておきたい日本は、昨年のユースオリンピックチャンピオンである北園という絶対的エースを有していましたが、新設ということで各国の出場選手の実力が未知数なこともあり楽観視はできない状況にありました。序盤から日本はミスをだすも、選手それぞれがカバーをしあってなんとか団体優勝を勝ち取ることができました。
北園は団体・種目別冠と、昨年ユースオリンピックに続いての快挙となり来年の東京オリンピックに向けて、世界での経験と実績を積み重ねることができました。

令和元年度　全国高等学校総合体育大会

期　　日：令和元年7月30日～8月2日
場　　所：鹿児島アリーナ（鹿児島）
選　　手：木下渚（3文Ｄ）坂口慶祐（3文Ｄ）近江圭太（3文Ｄ）
北園丈琉（２文Ｃ）末次耕太朗（２文Ｃ）矢野雄大（２文Ｃ）
田部壮一郎（２文Ｃ）川上翔平（１文Ｃ）
結　　果：団体総合準優勝【木下渚・北園丈琉・末次耕太朗・矢野雄大】
木下渚　個人総合11位／平行棒5位
近江圭太　個人総合10位／平行棒5位
北園丈琉　個人総合・床・平行棒・鉄棒優勝／鞍馬・つり輪2位
末次耕太朗　個人総合11位／鞍馬6位
田部壮一郎　個人総合17位／つり輪5位
矢野雄大　個人総合29位／跳馬3位／鉄棒5位

元号が令和となり初のインターハイが鹿児島にて開催されました。
本校は、昨年市立船橋と同点で団体優勝を分け合いました、なので今年はその決着をつけ２連覇を果たすべく練習を積んできました。
しかし、団体総合は惜しくも準優勝となり、目標としていた２連覇とはなりませんでした。
個人総合はエースの北園が圧巻の演技をみせて見事優勝を勝ち取りました。

２０１９　全日本ジュニア体操競技選手権大会

期　　日：令和元年８月１３日～８月１７日

場　　所：横浜文化体育館（神奈川）

選　　手：木下渚（3文Ｄ）北園丈琉（２文Ｃ）末次耕太朗（２文Ｃ）

矢野雄大（２文Ｃ）田部壮一郎（２文Ｃ）川上翔平（１文Ｃ）

石橋祐輔（中３Ｉ）戎耀汰（中３Ｉ）藤崎飛向（中２Ｉ）

結　　果：1部団体総合準優勝【木下渚・北園丈琉・末次耕太朗・矢野雄大】

木下渚　個人総合14位／平行棒5位／鉄棒6位

北園丈琉　平行棒・鉄棒優勝／個人総合・鞍馬2位／つり輪5位

末次耕太朗　個人総合12位／鞍馬4位

矢野雄大　個人総合20位

田部壮一郎　個人総合17位／つり輪4位

川上翔平　個人総合55位

2部

石橋祐輔　個人総合28位

戎耀太　個人総合184位

藤崎飛向　個人総合48位

８月横浜市文化体育館で全日本ジュニアが開催されました。

８月初めにおこなわれましたインターハイでは宿敵市立船橋に惜敗をしていましたので、のリベンジを果たすべく今大会に臨みました。しかし、団体総合準優勝という結果でした。

２部選手権には中学生３名、１部選手権には高校生６名が出場しました。２部選手権は上位入賞とはなりませんでしたが、藤崎（中２Ｉ）がＵ１５日本代表の選考会への参加資格を獲得しました。

中学生、高校生ともに今大会で経験したことを糧にして高校生は国体、中学生は来年に向けて頑張ってくれると思います。

令和元年度　大阪新人大会

期　　日：令和元年１１月４日（土）～５日（土）

場　　所：金岡公園体育館

選　　手：北園丈琉（2文Ｃ） 末次耕太朗（2文C） 北山翼（2文C）

近藤郁登（2文C） 田部壮一郎（2文C） 矢野雄大（2文C）

神田亮輔（2理Ｂ） 藤田幸音（2六Ｆ）

板橋悠迅（１文C） 川上翔平（１文C）

北本千真（１文C）　 長澤空良（１文C）

結　　果：団体総合

優勝【田部壮一郎・矢野雄大・川上翔平・板橋悠迅】

個人総合

優勝　矢野雄太

3位　川上翔平　選抜権利獲得

4位　田部壮一郎

5位　近藤郁登　選抜権利獲得

9位　北山翼

10位　長澤空良

14位　北本千真

15位　神田亮輔

17位　藤田幸音

21位　板橋悠迅

27位　末次耕太朗(怪我のため3種目のみ出場)

30位　北園丈琉(怪我のため1種目のみ出場)

先月初旬、2020年3月に兵庫県でおこなわれる全国選抜大会の予選、大阪新人大会が行われました。試合結果は上記のとおりです。

インターハイですでに権利を勝ち取っていた4名に加え新たに2名が権利を勝ち取りましたので、下記の6名が本校より選抜大会へ出場することとなりました。

北園丈琉（2文Ｃ） 末次耕太朗（2文C） 矢野雄大（2文C）

近藤郁登（2文C） 田部壮一郎（2文C） 川上翔平（１文C）

第73回全日本体操団体選手権

期　　日：令和元年11月9日～11月10日

場　　所：群馬県(高崎アリーナ)

選　　手：木下渚（3文Ｄ）　近江圭太（3文Ｄ）

北園丈琉（2文Ｃ）　末次耕太朗（2文Ｃ）

田部壮一郎（2文Ｃ） 川上翔平（1文Ｃ）

結　　果：団体総合8位

この大会は、高校生・大学生・社会人、各カテゴリーのトップチームが優勝を争い真の団体日本一を決めるものであり、高校生からはオープン参加を含めわずか3チームしか出場できないまさに日本トップレベルの団体戦です。インターハイなど高校生の試合とルールが変わり、それぞれのチームで各種目3人が演技を行い、その3人すべての得点が団体得点として計算されるので一つのミスが命取りになる非常に緊張感のある試合となりました。
日本代表やU-21代表を擁する社会人や大学生のチームがいる中で優勝を争うということは難しいですが、高校生らしい元気と勢いのある演技を存分に発揮し大健闘の8位入賞を果たしました。

上海チーム来校！！

清風×上海 合同練習会

12月7日～14日中国・上海チームが日本で合宿を行うということで来校し合同練習会を行いました。
東京オリンピックでは、最強のライバルとなるであろう中国ですが、合宿中は終始和やかな雰囲気でケガなどなく練習会を終えることができました。
最後には集合写真撮影や、お土産を交換するなどし交流を深めることができました。